

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

志免町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県糟屋郡志免町

3 地域再生計画の区域

福岡県糟屋郡志免町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、平成 27 年国勢調査では 45,256 人と微増傾向が続いており、住民基本台帳では令和 3 年 4 月末現在 46,537 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、令和 2 年以降も微増傾向が続き、令和 22 年(2040 年)には 47,066 人と推計されるが、令和 27 年(2045 年)以降は減少に転じると予測されている。

年齢 3 区分別でみると、平成 22 年から平成 27 年にかけて、生産年齢人口(15～64 歳)は 28,053 人から 27,569 人と微減傾向、年少人口(0～14 歳)は 7,439 人から 7,687 人と微増傾向で推移する一方、老年人口(65 歳以上)は 8,055 人から 9,947 人と増加が続き、令和 27 年には老年人口比率(高齢化率)が 31.2%まで上昇すると予測され、高齢化がより顕著に進行する見込みとなっている。

自然増減については、平成 7 年以降、出生数が死亡数を上回る自然増を維持しているが、出生数は減少傾向にあり、令和元年には 49 人の自然増となっている。なお、合計特殊出生率については、直近の統計では 1.77 となっており県平均を上回っているが、人口置換水準である 2.07 には及ばない状況である。

また、社会増減については、平成 7 年以降、転入数が 2,700 人前後、転出数が 2,500 人前後で推移している。平成 25 年度から平成 27 年度の 3 年間は転出者が転入者を上回っているが、基本的には転入数が転出数を上回る社会増で推移しており、令和元年においては 231 人の社会増となっている。しかしながら、年齢階

級別でみると、平成 22 年から平成 27 年にかけて、20 代後半から 30 代の転入数が 365 人と多く、特に直近 15 年はその傾向が強くなっているが、一方で進学や就職を機に隣接している福岡市を含む周辺自治体や九州圏外へ転出する 10 代の転出数が 97 人と多くみられる。

こうした人口増の背景には、福岡市を通勤圏としたベッドタウンとしての特性が大きいことが挙げられるが、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計によると、福岡市の総人口も令和 17 年（2035 年）頃をピークに減少に転じる見込みであり、労働力の低下、税収の減少、地域の担い手の減少といった課題が生じることが予測され、本町の活力にも影響を及ぼし、持続可能なまちづくりに支障が生じることが懸念される。

これらの課題に対応するため、定住環境の充実による安定した人口の確保をめざすとともに、出産・子育てをしたいと考える世代の希望をかなえるため、子育て支援の環境整備を充実させ、人口の維持を実現する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 2 まちの未来を担う人材を育成する
- ・基本目標 3 誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちをつくる
- ・基本目標 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	0～17歳の子ども的人数	9,040人	9,130人	基本目標 1
ア	子どもを育てやすいまちだと感じる保護者の割合	69.5%	70.6%	基本目標 1
イ	小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合	41.9%	50.0%	基本目標 2

イ	将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合（小６・中３）	小学校81.4% 中学校68.6%	小学校 83.8% 中学校 70.5%	基本目標 2
ウ	自立高齢者（65歳以上で介護 認定を受けずに生活してい る高齢者）の割合	85.8%	86.8%	基本目標 3
ウ	心身がともに健康だと感じる 町民の割合	68.7%	69.0%	基本目標 3
エ	これからも志免町に住み続 けたいと思う町民の割合	86.4%	90.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

志免町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 出産・子育ての希望をかなえる事業

イ まちの未来を担う人材を育成する事業

ウ 誰もが健康で生き生きと暮らすことができるまちをつくる事業

エ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 出産・子育ての希望をかなえる事業

地域のニーズにあった保育環境の整備や、子育てに関する情報提供や
相談・交流ができる環境づくり、出産・子育てを行う上での精神的・経
済的な負担軽減を行い、出産・子育てについての希望をかなえる事業

【具体的な取組】

- ・待機児童の解消
- ・子育てに関する相談体制の充実
- ・子育てに関する経済的負担の軽減 等

イ まちの未来を担う人材を育成する事業

子どもたちの確かな学力の向上、ふるさとを愛する心の養成、ＩＣＴを活用した学習や英語力の向上、キャリア教育の推進に取り組み、まちの未来を担う人材を育成する事業

【具体的な取組】

- ・確かな学力の向上
- ・ＩＣＴを活用した教育環境の整備
- ・英語教育の充実 等

ウ 誰もが健康で生き生きと暮らすことができるまちをつくる事業

町民の健康意識の向上、地域で高齢者を見守る体制の構築、介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援し、誰もが健康で生き生きと暮らすことができるまちをつくる事業

【具体的な取組】

- ・健康づくりの啓発と活動機会の充実
- ・町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援
- ・フレイルや閉じこもりの予防機会の提供 等

エ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業

地域の商工業と新たな創業者の育成支援、交通利便性の向上や地域特性にあった住宅施策の実施、地域ぐるみの防犯活動の推進と防犯環境を整備し、ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業

【具体的な取組】

- ・新規創業者の育成支援
- ・地域交通の利便性の向上

- ・地域の防犯機能の強化 等

※なお、詳細は「第2期志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000 千円（2021 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度、8月頃に外部有識者で構成する「志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定検証委員会」を開催し、効果検証を行う。検証後速やかに志免町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで